

発行年月日 平成25年11月05日
受付年月日 平成25年10月31日
受付番号 A1310047

モルタルの圧縮強度試験結果報告書

株式会社 博有

中御

試験結果を以下の通り報告します。

ISO/IEC17025登録証明書
株式会社建設コンサルテ
杉山長部
2015年1月22日
新規登録

注記) 本試験結果報告書の取り扱いについて

本報告書を第三者に開示する場合は、必ず全文を複製するものとし、一部の複製を行わないで下さい。

卷之三

発行年月日	平成25年11月05日
受付年月日	平成25年10月31日
受付番号	A1310047

モルタルの曲げ強度試験結果報告書

株式会社有博

中御

試験結果を以下の通り報告します。

件 名		品質管理試験						
依頼者	会社名	株式会社 博有						
所在地	福岡県鞍手郡鞍手町上木月275-1							
種類	ボリマーセメントモルタル							
製造会社名	製品名称	株式会社 博有						
供試体	1回目	平成25年10月04日	搬入年月日	1回目	平成25年10月31日			
形 状	幅 4 cm × 高さ 4 cm × 長さ 16 cmの角柱形							
数 量	試験 種類ごと 3 本:	合計 3 本。						
養生方法	標準養生							
試験方法		JIS A 1111[ボリマーセメントモルタルの試験方法]7.2.3曲げ強さ試験に準じて試験を行った。						
【使用設備 機器】		1.油圧式200kN圧縮試験機 (使用レンジ: 20 kN, スパン: 100 mm)						
試験年月日 (材齢)	回数	供試体番号	最大荷重 ($\times 10^3$ N)	曲げ強度 (N/mm ²)	平均値	破壊状況		
平成25年11月01日 (材齢: 28日)	1	1	2.60	6.08	6.43	良		
	2	2	2.85	6.67		良		
	3	3	2.80	6.55		良		
試験結果								

注記) 本試験結果報告書の取り扱いについて

本報告書を第三者に開示する場合は、必ず全文を複数部提出しなさい。

2 本報告書が試験結果の一部を当該試験所の文書により当該試験所の承認を得るようして下さい。

製品安全データシート

1 化学物質等及び会社情報
製品名 H2タフネス
会社名 株式会社 博有
住所 福岡県直方市植木849-1 ADOX別館
電話番号 0949-28-7428

2 組成、成分情報
单一製品・混合物の区別
一般名 混合物
成分 オールアクリル樹脂ポリマーセメント

《名 称》

アクリル樹脂粉末
ケイ酸カルシウム
鉄アルミニ酸カルシウム
硫酸カルシウム
高炉スラグ
二酸化ケイ素
セルロース誘導体

危険有害成分
危険有害不純物

3 危険有害性の要約
最重要霧危険有害性
物理的及び化学的危険性

該当しない、
該当しない

3 危険有害性の要約
最重要霧危険有害性

一般的な条件下で、現在のところ特別な危険性に関する有用な情報はない。但し、水と接触すると水酸化カルシウムを生じアルカリ性(pH12~13)を呈する。そのため目に目や皮膚に付着した場合、刺激する。長時間付着した状況では、炎症を起こす可能性がある。
粉塵を多量に長期吸い続ければ、危険性はないが、水に接觸すると粉塵がある。

通常の取り扱いでは、危険性はないが、水に接觸すると固化する。

分類の名称
(分類基準は日本方式)

4 応急措置
皮膚に付着した場合

目に入った場合

飲み込んだ場合

吸入した場合

多量の水、微温湯および石鹼で洗い流す。必要に応じて、医師の診断を受ける。
目をこすらず清浄な水で異物感がなくなるまで洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受ける。
水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水を飲ませ、喉に指を入れて吐き出させる。
新鮮な空気の場所に移動する。必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置
火災時の特定危険有害性
特定の消火方法
消化剤

自体は不燃であるため特になし
自体は不燃であるため特になし
自体は不燃であるため特になし

6 漏出時の措置
人体に対する注意事項
環境に対する注意事項

漏出時の処理を行った際には、必ず保護眼鏡、防塵手袋、防塵マスク、保護衣等を着用する。
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

7 取扱いおよび保管上の注意
取扱い、
保管 適切な保管条件

取扱いは換気のよい場所で行い、適切な保護具(保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク、保護衣等)を着用する。
水濡れ、直射日光を避け、屋内で貯蔵する。保管時の温度は40°C以上ならないようにする。

8 暴露防止及び保護措置 設備対策

取扱いについてはできるだけ密閉された措置、器具を使用する。
適切な排気、換気装置を使用する。
取扱い場所の近くに洗顔、水洗設備を設けることが好ましい。

管理濃度(労働安全衛生法・作業環境評価基準) 2.9mg/m³
許容濃度 日本産業衛生学会 第2種粉塵

保護具 保護眼鏡(ゴム又は樹脂製のゴーグルタイプが好ましい)、保護手袋、保護マスク、保護衣(長袖、長ズボン)等

9 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	性質
微香性粉体	灰白色	pH

水と接觸すると水酸化カルシウムを生じpH12～13を呈する。

10 安定性
安定性
反応性
避けるべき条件
避けるべき材料

一般的環境下では安定
水分との接觸により、固化する。
特になし
特になし

11 有害性情報

刺激性(皮膚、目等)
慢性毒性

水と接觸すると水酸化カルシウムを生じpH12～13を呈する。
そのために目や皮膚に接觸すると刺激する。皮膚に長期間付着した状況では炎症を起こす可能性がある。
粉塵を多量に長期間吸收入し続けると、呼吸器に影響をもたらす恐れがある。

12 環境影響情報

分解性
生体蓄積性
魚毒性

データなし
データなし
データなし

13 廃棄上の注意

国連分類
国内規制
輸送の特定の安全対策及び
条件

法的に許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14 輸送上の注意

該当しない
該当しない
該当しない
運搬に際しては包装に漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。また、水濡れがないよう保護措置を講じる。

15 適用法令 使用条件により「労働安全衛生法(粉じん障害防止規則」

16 その他情報

本製品は、化学物質排出管理制度(PTR法)及び労働安全衛生法57条の2に定められたMSDSの発行が必要な物質には該当しません。

本製品安全データシート(MSDS)は、JIS Z 7250:2000「化学物質等安全データシート(MSDS)－第1部：内容および項目の順序」に準じて作成しており、用語の定義は、JISに従っています。
本データシートは、現時点入手できます。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであります。製品使用者が特殊な取扱いをされることはございません。
また、弊社はMSDS記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。